

2025 年 7 月 24 日

NTT 西日本株式会社

岐 阜 支 店

東濃地域自動運転推進コンソーシアム協定締結披露式を実施 ～次世代モビリティ実証運行に向けた取り組みを開始します～

NTT 西日本株式会社 岐阜支店（支店長：立木 祥平、以下「NTT 西日本」）は、恵那市、多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市、下呂市と「東濃地域自動運転推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」）」の協定を締結しました。

また、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」の採択を受け、関係者と協定締結披露式を実施しました。今後、自動運転による持続可能な移動サービスの社会実装に向け取り組みます。



2025 年 7 月 14 日 セラミックパーク MINO にて協定披露式を実施。

（写真左から）高木貴行 多治見市長、小栗仁志 中津川市長、水野光二 瑞浪市長、小坂喬峰 恵那市長、加藤淳司 土岐市長、山内登 下呂市長、NTT 西日本 岐阜支店長 立木 祥平

1. 取り組みの背景

岐阜県東濃地域および下呂市では、少子高齢化に伴う交通手段の不足や、公共交通の維持が課題となっています。また、リニア中央新幹線の開業を控え、地域間の移動を円滑にする「二次交通」の整備が急務となっています。

こうした背景のもと、NTT 西日本は、恵那市、多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市、下呂市と連携し、自動運転による持続可能な移動サービスの社会実装に向けて、2025 年 5 月 8 日にコンソーシアム協定を締結しました。

2. 取り組みの概要

本事業は、国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」に採択され、重点支援事業として位置づけられています。「東濃地域自動運転推進コンソーシアム」には、恵那市、多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市、下呂市が参加し、NTT 西日本が事業運営を担います。

各市では、観光地や医療機関などを結ぶルートで自動運転車両を運行し、地域住民の移動支援と観光利便性の向上を図ります。2025 年度は、自動運転レベル 2^{※1}での定時運行を実施し、2027 年度にはレベル 4^{※2}への移行をめざします。

※1 レベル 2：自動運転のレベルで、運転者が操作し、アクセル・ブレーキ操作およびハンドル操作の両方が、部分的に自動化された状態。

※2 レベル 4：自動運転のレベルで、特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。

<出典：国土交通省>

3. 実証運行予定ルート

- 恵那市：明知鉄道岩村駅～岩村歴史資料館
- 多治見市：ホワイトタウン周辺
- 中津川市：神坂小中学校前～馬籠宿
- 瑞浪市：瑞浪駅～瑞浪市役所
- 土岐市：土岐市駅～土岐市役所
- 下呂市：下呂駅～下呂温泉病院

4. 今後の展開

今後は、各市での実証結果をもとに、運行ルートの拡張や通年運行の実現をめざします。また、特定自動運転許可の取得に向けて、オペレーションの標準化や地域課題の共有・解決を進めてまいります。

NTT 西日本は、地域の皆さまとともに、安心・安全で持続可能な交通インフラの構築に貢献してまいります。

審査 25-S449

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。

変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。